

『研修員×民間企業・団体等 農業共創セミナー』開催のお知らせ

1. 背景・目的

(1) 背景

気候変動や環境との両立、食の安全性や担い手の確保等、世界の農業を取巻く課題は複雑化しており、途上国・日本の双方における課題とその解決策について議論を行うことは重要です。

今回の共創セミナーでは、途上国・日本の双方において、経済面・社会面・環境面などの広範な課題につながる持続的な食料システム/バリューチェーンの構築と強化を中心に有用な取組や技術・製品・サービスの紹介・展示に加え、参加者全員で意見・情報交換を行う場（共創）を創出することを目的に開催します。

(2) 目的・期待される成果

- ・ 出展企業・団体の技術・製品・サービス紹介を通じた意見/情報交換（ビジネスマッチング）を行う。
- ・ 持続可能な食料システム・フードバリューチェーンの構築にかかる課題について議論をおこなうことで、多角的・長期的な視野に立った学びが促進される。
- ・ 参加者間の互惠・持続的な関係を中・長期的に構築することで、途上国・日本双方の持続可能な食料システム・フードバリューチェーンの構築と強化に貢献する。

(3) 主要テーマ

今回のセミナーは、「持続可能な食料システム¹・フードバリューチェーン²の構築と強化」をテーマに開催します。

出展企業・団体の皆様に、展示いただく技術・製品・サービスの食料システムの中での位置づけや、ターゲットとする社会課題をご説明いただくことで、出展企業・団体の皆様と参加者が途上国の課題解決について議論を深め、より広範・有機的なネットワークの構築を目指したいと考えています。

※ 当テーマに合致しない企業・団体の参加を排除するものではありません。参加のご希望がありましたら、お気軽に応募フォームからご相談下さい。

(4) 食料システム・フードバリューチェーンに関する課題例

食料の生産、加工、輸送及び消費に関わる一連の活動である食料システムにおいては、①経済面の課題（食料の安定供給等）、②社会面の課題（女性・若者を対象とした雇用創出/生計の安定等）、③環境面の課題（気候変動への対応等）などの広

¹ 食料の生産、加工、輸送及び消費に関わる一連の活動のこと

² 食品流通の各段階で生み出される付加価値（バリュー）を連鎖させたもの

範囲の要素を含んでいます。

フードバリューチェーンにおいては、JICA は途上国での食料安全保障の確立に向けたバリューチェーン構築を通じて、農作物の付加価値向上とこれを通じた農家の生計向上に貢献するための事業展開を行っています。

2. 概要

(1) 日時： 2024年6月21日(金) 13:00~17:30(予定)

※参加者数によってプログラムが変更になる可能性があります。

(2) 場所： JICA 筑波 (茨城県つくば市高野台 3-6)

(<https://www.jica.go.jp/tsukuba/office/access.html>)

(3) 参加者 (ブースを巡回し、出展者と意見交換を行う) :

- ① JICA 筑波 研修員 (別添研修コース詳細参照)
- ② JICA 専門家、海外協力隊、研修委託機関および JICA 職員等
- ③ その他、途上国(主にアジア・アフリカ地域)に関心のある日本の民間企業・団体、大学・研究機関など

※ 今回の募集は以下「出展者」を対象としております。「参加者」としてのご応募は追ってご案内させていただきますので、少々お待ちください。

(4) 出展者 (ブースを出展し、参加者に対して説明を行う) :

途上国に関心のある民間企業・団体・個人および大学・研究機関、および公共団体など

(5) プログラム (予定)

※ 登壇・参加者数によってプログラムが変更になる可能性があります。

以下の通り、個別ブースでの意見交換とフリー・ディスカッションを用意。

時間帯	内容
午前中	展示準備、昼食等
13:00~13:30	JICA 筑波 所長挨拶 JICA における持続可能な食料システム/バリューチェーン支援、 産業化の取組み紹介 プログラム確認
13:40~16:00	参加者を出展数に応じてグループ分けし、20分(移動・準備 10分、 発表 10分(予定)) 毎に各ブースを巡回することで製品紹介・交流。 *全参加者が全ブースを巡回できるよう調整予定。

16:00~17:30	<p>個別ブース・交流スペースでのフリー・ディスカッション</p> <p>※ 出展者と関心ある参加者が個別に交流・議論できる時間を設定。</p> <p>※ 逐次通訳は行わず、出展者にご対応いただく予定。</p>
-------------	---

3. お申込方法・お問い合わせ先

当セミナーへご参加いただけます場合、4月26日（金）までに以下の URL よりお申込みください。

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/yF4VK5XudC>

※ 出展者の数は最大 7 社程度を想定しております。想定を大きく上回るご応募をいただいた場合、一部の応募者にご出展を見送らせていただく可能性がございます。予めご了承ください。

4. 連絡事項

(1) 当日、持参いただくもの（推奨）

- ・ 御社・団体の製品・技術・取組等の紹介動画
- ・ 御社・団体の展示パネル（データをいただければ、当方にて A0 サイズなど印刷可能です）
- ・ 御社・団体のパンフレット、チラシ
- ・ アンケート用紙（セミナー全体のアンケートは JICA 筑波で実施しますが、個別の内容（製品・技術、現地事情等）のアンケートご希望の場合は、個別ブースで配布ください。）
- ・ 名刺など

(2) 録画・撮影

当日の様子を録画・撮影し、後日 SNS 等で配信させていただく予定です。

*応募フォームへのご応募をもって、本件ご了承いただいたものとさせていただきます。

(3) PR シート

開催前、各企業・団体様に簡単な PR シート（A4 サイズ 1 枚程度）を作成いただきたく、改めて連絡いたします。（事前に参加者に配布し、各ブースでの展示内容等、お示しするものとなります。）

(4) 研修員情報

事前に、当日参加の研修員情報（所属先、連絡先等）を共有いたします。本セミナーの場に限らず、直接、連絡を取り、情報収集・意見交換等を行っていただければと存じます。

(5) 出展にかかる費用

出展料金は発生しませんが、製品の運送費や人件費、上記(1)のご準備に係る費用は、出展者様にご負担いただきます。予めご了承下さい。

5. お問い合わせ先

ご不明点等ございましたら、以下の担当者までご連絡ください。

西岡 美紀 (Nishioka.Miki2@jica.go.jp)

根本 拓哉 (Nemoto.Takuya@jica.go.jp)

篠原 美恵子 (Shinohara.Mieko@jica.go.jp)

木村 勇太 (Kimura-Yuta@jica.go.jp)

宮本 明德 (miyamoto-akinori@jica.go.jp)

山本 光希 (Yamamoto-Miki@jica.go.jp)

6. ご参考

前回のセミナーは、2023年5月に開催いたしました。当時の様子や農業共創ハブの活動・JICA 筑波の施設紹介などについては、以下サイトをご覧ください。皆さまのご参加、心よりお待ちしております。

[共創セミナー開催概要 \(2023年5月\)](#)

[JICA 筑波・農業共創ハブ | JICA 筑波](#)

[農業共創ハブの概要 パンフレット](#)

[農業共創ハブ・JICA 筑波施設の紹介動画 \(YouTube\)](#)

以 上

別添：研修コース詳細

コース名 (対象)	参加国	コース概要
稲作技術向上 (普及員) (A)	フィリピン、エチオピア、ガンビア、リベリア、マラウイ、ウガンダ、カメルーン、ギニア、マダガスカル	稲作の栽培技術の普及に携わっている組織の技術者を主な対象とし、日本の技術や経験をベースとして、水稻を中心とした基礎的な稲作栽培技術、普及手法、栽培試験手法を学ぶ。
天水稲作のための稲栽培・種子生産及び品種選定技術	ガーナ、マラウイ、シエラレオネ、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ギニア	陸稲の栽培、種子生産及び品種選定技術を基礎から学び、各地域に適した品種の種子を適切に生産・保存し、普及できる知識及び技術をもった人材の育成を目指す。
市場志向型農業振興(普及員)	ボツワナ、エチオピア、ガーナ、レソト、マラウイ、ナミビア、ナイジェリア、南スーダン、タンザニア、ウガンダ、ジンバブエ	小規模農家が作物を「作ってから売る」のではなく、「売のために作る」というケニアで成果をあげている手法や考え方(SHEP アプローチ)、市場志向型農業の基本的な考え方、市場ニーズに対応した野菜栽培技術、流通・販売方法および普及手法について学ぶ。
小規模農家の生計向上のための野菜生産技術	カンボジア、エスワティニ、フィジー、ラオス、ネパール、パプアニューギニア、トンガ	小規模農家への普及指導を行う普及員を対象に、野菜の生産技術やマーケティング、販売方法まで基礎的な知識の習得を目指す。
持続可能な農業機械利用	エチオピア、ナイジェリア、ザンビア、カメルーン、コートジボワール、ケニア	持続的な機械利用を指導できる人材を育成するため限られたリソース(農業資機材、人員)を有効活用し農業生産性・品質向上を実現するための人材育成に取り組む。